

## 地域

渡邊氏がご活躍されております、静岡県富士宮市は、富士山の西南麓に位置し、富士山本宮浅間大社の門前町として、富士山とともに栄えてきた都市です。富士山が生み出す良質は地下水は、農業用水、水道用水として古来より利用され、近年では、工業用水として、産業の発達に欠かせない役割を果たしています。

## 略歴

平成 9年7月～平成22年4月現在 富士宮市地下水保全対策会議委員

平成10年7月～平成22年4月現在 富士宮市営林委員会委員

平成21年7月～平成22年4月現在 富士宮市自然環境保全審議会委員

## 功績内容

- ・全国に先駆けて、富士宮市に列状間伐(3残1伐)のモデル林を提案、指導し、森林の水源涵養機能等の公益性、経済性、景観等に配慮した森林整備等の推進に貢献されました。
- ・防災水源涵養路の整備を提案、間伐等の保育管理費・搬出経費の軽減等を考慮した森林整備を推進し、間伐林の水源涵養機能の強化に貢献されました。
- ・富士山域森林の水源涵養機能を概数予測する「富士山方式」を提唱されるなど、永年にわたる森作りの研究に携われ、講演や間伐指導など、人材の育成にも熱心に取り組まれています。各地で講演・指導され、水資源行政の推進に大きく貢献しています。
- ・ボランティア活動「富士山自然の森づくり」を通じて、風害跡地での自然林復元活動を行うなど、富士山麓等における水源涵養機能の回復に貢献されています。



3残1伐列状間伐



講演風景



防災水源涵養路



自然林復元活動演(写真中央がご本人)